



光による成分分析

近赤外光を利用して、物質、生体の内部成分を分析する

応用範囲

- 有機合成品や魚、農産物、薬剤など様々な分析業務に対応
- 測定対象は粉体、固体、液体、生体組織、フィルムと万能に測定可能

特徴

設置場所を選ばない
コンパクト・軽量設計

前処理いらず
非破壊成分分析

AIを活用した
高精度分析

手のひらサイズにもかかわらず、
HPLCや質量分析計、大型分析装置と
同様の分析結果が得られます！

分析時間を短縮
ワンタッチ分析

廃液不要な
SDGsに貢献

開発・設計からデータ解析まで
一気通貫・個別対応

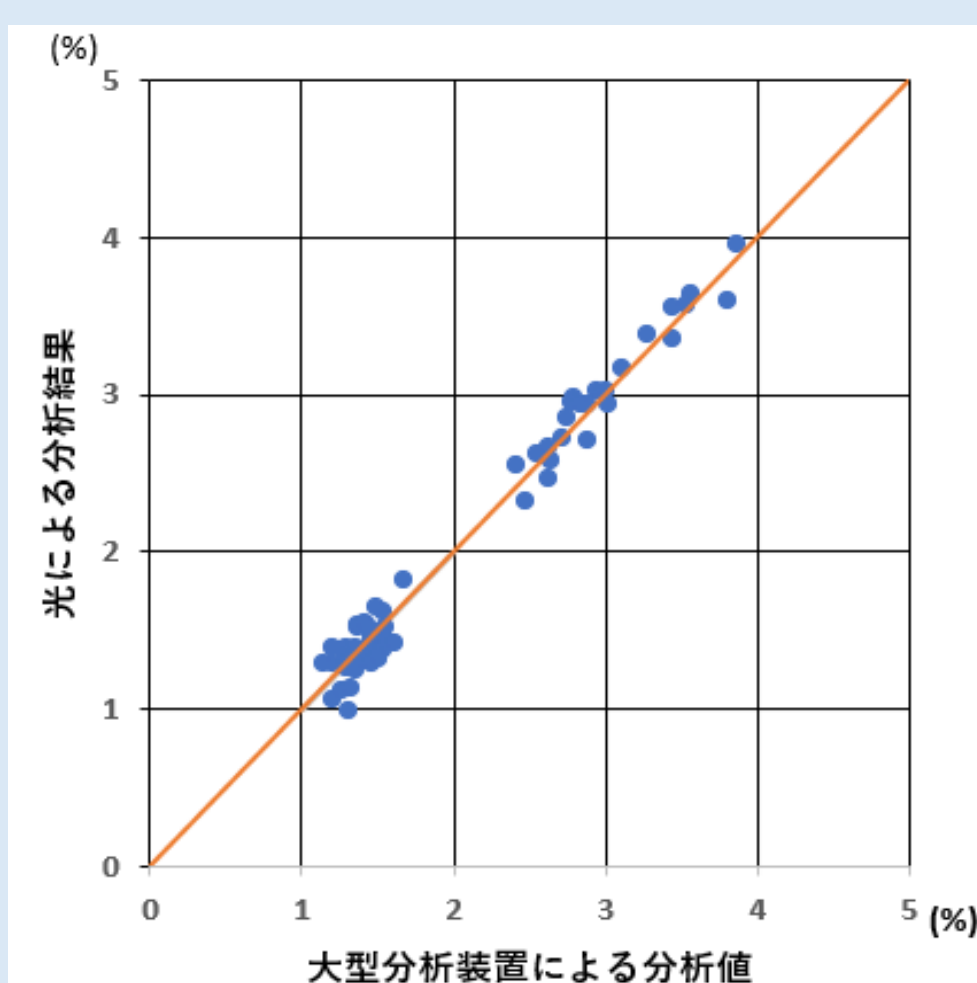
上記以外にも目的達成のため、データハンドリング及び検量モデルのカスタマイズが可能です。
こんなことできるかな？などお気軽にお問い合わせください。

使い方は自由！可能性は無限！

ポータブル近赤外分析器

粉体、液体、固体、生体組織、
フィルムに対応した万能型。

- ・プラスチックの種類や劣化の判定
- ・アルコールや水の成分解析
- ・小麦や大豆、米の主要成分の定量
- ・果実の糖度・内部欠陥・熟度の非破壊評価
- ・チョコレートやバター製造ラインでの成分の評価
- ・コーヒーや緑茶の品質評価
- ・漢方生薬の効能成分の定量 など



手のひらサイズにもかかわらず、HPLCや質量分析計、大型の分析装置と同等の分析結果が得られます！

植物由来成分の
定量分析結果



反射型
M020/M021



透過型
M022/M023



本装置は、すでに各地の漁港での魚の等級分け、ブランド化に活用されています。写真はその作業現場の実施例です。



反射型
M011-02

モバイル近赤外分析計

近赤外波長域の吸光度計測による成分算出が可能
屋外での計測に最適な小型・軽量のモバイルタイプ。

- ・魚の脂量計測
(品質保証やブランド化を実現)
- ・果実の糖度測定 など

